

業務仕様書

この業務仕様書は、独立行政法人国際協力機構 沖縄センター（以下、発注者）が実施する「沖縄センター宿泊棟本館漏水修繕工事」に関する業務の内容を示す。

本件受注者は、本業務仕様書及び「独立行政法人 国際協力機構（JICA）建物・設備等請負工事实施要領（業務仕様書補足資料）」（以下、「実施要領」という。）に基づき本件業務を実施する。

1. 工事名称 沖縄センター宿泊棟本館漏水修繕工事
2. 工期（予定） 2019年11月11日から2019年12月20日
3. 施設概要
 - (1) 対象建物 沖縄センター 宿泊棟本館
 - (2) 工事場所 沖縄県浦添市前田 1143
 - (3) 対象設備 建物
 - (4) 敷地面積 31,140.37 m²
 - (5) 建物概要 下表による。（●印は工事の対象となる棟を示す）

表 建物概要

	管理研修棟	厚生棟	●宿泊棟 本館	体育館
竣工年	1984	1984	1984	1984
建築面積m ²	1,489.95	760.87	1,183.18	1,087.42
延床面積m ²	3,652.29	1,374.52	3,138.62	984.58
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
規模	地上3階	地下1階 地上2階	地上3階	地上1階

	給水塔	ニライホール	宿泊棟 別館	エネルギーセンター
竣工年	1984	1999	1999	2014
建築面積m ²	16.24	536.99	433.63	130.17
延床面積m ²	80.40	1,216.24	900.27	130.17
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
規模	地上5階	地上3階	地上3階	地下1階

(6) 設備概要 下表による。

表 設備概要

共用部冷房用空調設備	宿泊室冷房用空調設備	排煙設備
①パッケージエアコン【106組・電気】 ②マルチパッケージエアコン【9組・電気】 ③ガスヒートポンプマルチエアコン【3組・ガス】	パッケージエアコン【105組・電気】	自然排煙
給水設備	共用部給湯設備	宿泊室給湯設備
受水槽【45m ³ 】+ポンプ+給水塔【25m ³ 】	①電気温水器【局所給湯方式・電気】 ②ガス瞬間湯沸器【局所給湯方式・都市ガス】	①温水ボイラー【中央給湯方式・都市ガス】 ②太陽熱温水器【中央給湯方式・太陽熱】
排水設備	消火設備	ガス設備
下水道利用	屋内消火栓	都市ガス
受変電設備	非常用発電機設備	補助電力設備
高圧受電	ディーゼルエンジン（500kVA） オイルサービスタンク（A重油1950L）	太陽光発電設備
水槽類	エレベータ設備	中央監視設備
①受水槽【45m ³ ・市水用・FRP製】 ②井水槽【井水用・コンクリート製】 ③給水塔【25m ³ ・市水用・便所洗浄水用（井水）・コンクリート製】 ④貯湯槽【4m ³ ×2台・給湯用・ステンレス製】 ⑤太陽熱集熱槽【4.4m ³ ・給湯用・ステンレス製】 ⑥汚水槽【汚水用・ピット】 ⑦雨水槽（厚生棟）【雨水用・ピット】 ⑧雨水槽（東屋）【散水用・ピット】	5台（管理研修棟1台・ロープ式、厚生棟1台・油圧式、宿泊棟本館1台・ロープ式、宿泊棟別館1台・ロープ式、ニライホール1台・油圧式）	中央監視装置（BAS）

4. 工事概要

沖縄センター宿泊棟本館漏水修繕工事に係る、下記項目の工事を実施する。

(1) 渡り廊下接合部修繕工事

宿泊棟本館と渡り廊下2の取り合い部に空隙があり、地下ピットへ雨水等が流入している恐れがある為、空隙を山砂により埋め戻し、雨水が流入しにくい状態を確保する。詳細は「業務仕様書別紙1 工事概略図」による。

(2) 共用廊下エキスパンションジョイント漏水修繕工事

共用廊下の3階天井に漏水跡が見られ、屋根エキスパンションジョイントの劣化やシーリング材の劣化が見られるため、エキスパンションジョイントを撤去・新設する。また、劣化した部分の内装仕上げ材の修繕を行う。詳細は「業務仕様書別紙1 工事概略図」による。

5. 留意事項

- (1) 本工事は施設利用中の工事（居ながら工事）であるため、施設利用者等の安全に十分配慮すること。また、作業の振動・騒音、作業員・資材・建設機器等の動線などに留意し、施設利用に支障が生じないように十分に配慮する。
- (2) 当初予定していた工事内容から変更が生じる場合は、工事担当職員と協議の上、決定すること。

6. 添付資料

業務仕様書別紙1 「工事概略図」

7. 貸与品

関連する図面等一式

8. 現場代理人(業務責任者)の配置

現場代理人は1名を配置し、非常駐とする。

10. 主任技術者または監理技術者の配置

主任技術者または監理技術者を1名配置する。

主任技術者または監理技術者は現場代理人を兼務してもよい。

1.1. 成果物

「実施要領」による他、以下の通りとする。

①完成図書

以下の図書を完成引渡時に発注者に提出する（番号2～12はA4ファイルに整理する）ものとする。なお、公共建築改修工事共通仕様書（最新年版）／国土交通省官房官庁営繕部監修に基づき作成すること。

番号	図書名称	部数	備考
1	竣工図	2	A3版背張り綴じ、背文字、表紙文字
2	メーカーリスト	2	施工業者標準
3	施工図・製作図	2	承諾図
4	試験成績表	2	メーカー標準、施工業者標準
5	工事記録写真	2	データ(隠蔽部、仕上がり)下記参照
6	打合記録	2	
7	社内検査報告書	2	施工業者標準
8	取扱説明書	2	メーカー標準、保証書
9	維持管理等説明書	2	(ダイジェスト版)
10	官公署届け書類等	2	リスト、届け書類、検査済証等
11	緊急連絡先リスト	2	リスト
12	竣工引渡書	2	施工者標準
13	その他	2	その他必要に応じて追録
14	竣工図 CAD データ	2	PDF(全ページを1ファイルで)、DXF

注) 1～13までの資料についてはPDF化の上、14と併せCD-Rにて2部提示すること。

②工事記録写真

以下の写真を改修対象箇所全般に渡り、各L版にて一部提出する。なお、デジタル写真による記録も可能とする。

- ・工事着手前写真 L版／カット数：改修箇所全般
- ・工事工程写真 L版／カット数：改修箇所全般
- ・完成後写真 L版／カット数：改修箇所全般

③予備品

指定しない。